

2023年12月27日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社  
代表者名 代表取締役社長 金森 健  
(コード番号 6269 東証プライム市場)  
問合せ先 経営企画部 (TEL. 03-5290-1240)

## ウッドサイド社セネガル沖合サンゴマール鉱区向け FPSO、西アフリカに向け出港

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:金森健、以下「当社」)が、オーストラリアのエネルギー大手 Woodside Energy 社(以下「ウッドサイド社」、本社:パース市)より受注し、建造を行っていた浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備(FPSO : Floating Production, Storage & Offloading system)は、シンガポールの造船所での改造工事を終え、セネガルに向けて出港しました。

「FPSO Léopold Sédar Senghor」と名付けられた本 FPSO は、VLCC タンカーをセネガル初の海洋油田開発プロジェクト向けに改造したもので、日量 10 万バレルの原油生産能力、日量 130 百万立方フィートのガス生産能力、日量 14 万 5 千バレルの水圧入能力、及び 130 万バレルの原油貯蔵能力を有します。本 FPSO はウッドサイド社に引き渡され、ダカールの南方約 100km 沖合に位置する深海油田の Sangomar(サンゴマール)鉱区に係留されます。また、当社は、その後 10 年のオペレーション&メンテナンス・サービスをウッドサイド社に対して提供する予定です。

当社は、本 FPSO の設計から建造までを請け負いました。建造工事は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響下で進めることとなりましたが、安全と品質の管理に努め、2,100 万時間以上の作業時間を労働災害による休業をすることなく完了しました。

本 FPSO は、当社が西アフリカの海洋油田開発プロジェクト向けに提供する 5 基目の FPSO となります。近年、大規模油田が次々と発見されている西アフリカ沖合は、当社にとって最も重要な市場の一つであり、西アフリカ地域で約 30 年のオペレーション実績を持つ当社は、現在もガーナ及びコートジボワールにて計 2 基の FPSO のチャーターサービスを提供しています。



FPSO Léopold Sédar Senghor



### 三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発（MODEC）は、FPSO（Floating Production, Storage & Offloading system：浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備）をはじめとする海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油ガス・生産設備の設計、建造、リース、チャーター、オペレーション&メンテナンス・サービスを提供する日本で唯一の企業です。

<https://www.modec.com/jp>